



REMOTE AIR 3

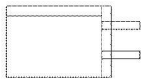
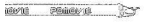
PD2-H1 (1 モーターモデル)

PD2-H2 (2 モーターモデル)

PD2-H3 (3 モーターモデル)

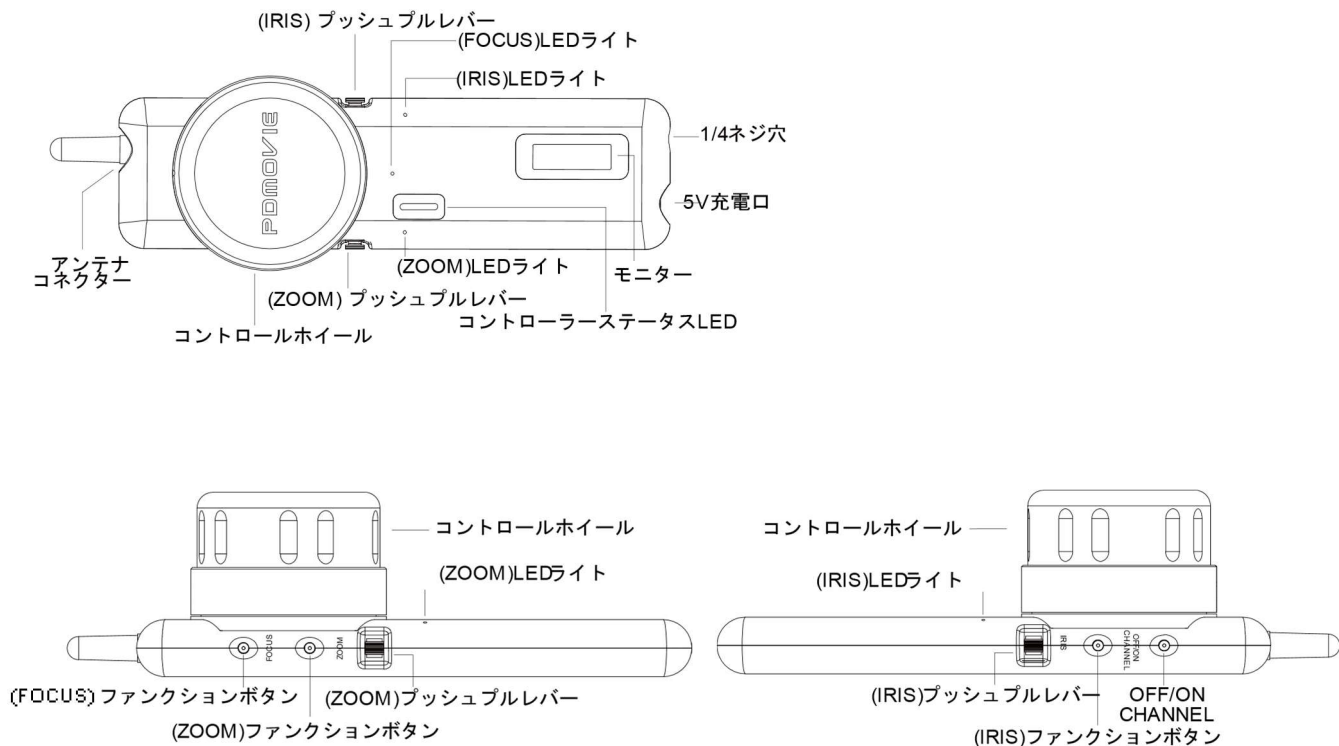
取扱説明書

REMOTE AIR 3 同梱品

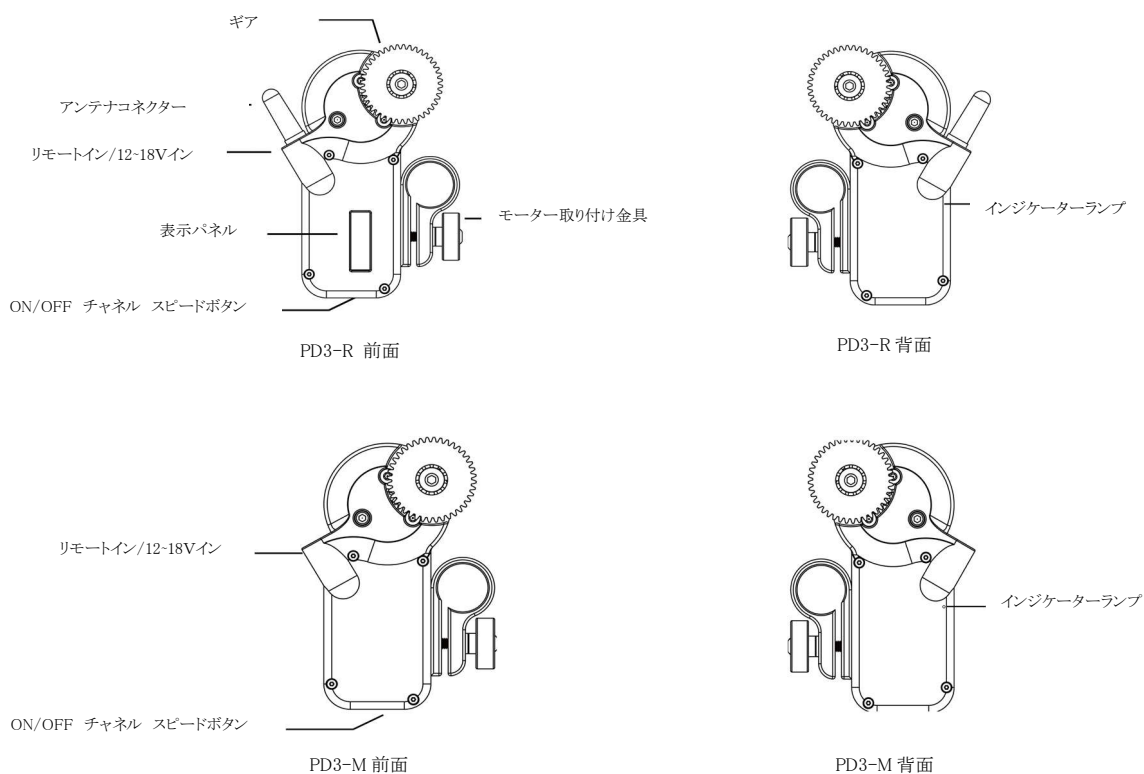
	品名	PD2-H1	PD2-H2	PD2-H3
	コントローラー	1	1	1
	レシーバーマスターモーター(PD3-R)	1	1	1
	スレーブモーター(PD3-M)	-	1	2
	モータードライブケーブル	-	1	2
	D-Tap 電源ケーブル	1	1	1
	USB 充電ケーブル	1	1	1
	USB 充電器	1	1	1
	15mm/19mm アダプターリング	1	2	3
	マーキングディスク	2	2	2
	ショートアンテナ	2	2	2
	ロングアンテナ	2	2	2
	ストラップ	1	1	1
	収納ケース	1	1	1

各部名称

コントローラー



モーター



モーターの取り付け

モーターは直径 19mm または 15mm のロッドに取り付けることができます。15mm のロッドに使用する場合はアダプターリングを使用してください

モーターの接続

PD2-H1（1 モーター）を使用する場合

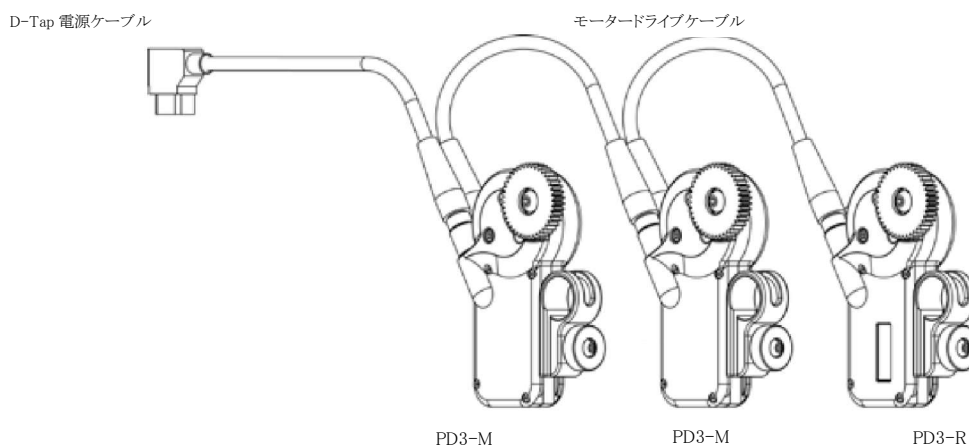
- 1)D-Tap 電源ケーブルをモーターPD3-R に直接接続してください
- 2)次に、D-Tap コネクターを V-Mount バッテリーまたは同様の D-Tap 出力電源に接続してください(D-Tap 電源は 12～18V)

PD2-H2（2 モーター）を使用する場合

- 1)PD3-R と PD3-M をモータードライブケーブルで接続してください
- 2)次に、D-Tap コネクターを V-Mount バッテリーまたは同様の D-Tap 出力電源に接続してください(D-Tap 電源は 12～18V)

PD2-H3（3 モーター）を使用する場合

- 1) PD3-R と PD3-M をモータードライブケーブルで接続してください
- 2) PD3-M と PD3-M をモータードライブケーブルで接続してください
- 3)次に、D-Tap コネクターを V-Mount バッテリーまたは同様の D-Tap 出力電源に接続してください(D-Tap 電源は 12～18V)



アンテナの取り付け

ショート・ロングアンテナ予備を含め各2本ずつ合計4本のアンテナがパッケージに入っています。コントローラー、PD3-R レシーバーモーターに取り付けてください。受信感度により長短を選択してください

電源を入れる

コントローラーの電源をオンにするには、側面の ON / OFF ボタンを押します

モニター画面が点灯するまで 3~4 秒間押し続けます。モーターの電源を入れるには、底面の ON / OFF ボタンを 3~4 秒間押します。インジケータランプが点灯するまで押し続けます

チャンネル調整

コントローラーの電源を入ると、モニターが表示されます。ステータス情報には現在のチャンネルが表示されます。

コントローラーのチャンネルと PD3-R レシーバーモーターのチャンネルを一致させてください。

チャンネル番号は、モーター側は OFF / ON ボタンを1回短く押すと変わります。コントローラー側は OFF / ON ボタンを1回短く押し、チャンネル表示が点滅した状態で OFF / ON ボタンを1回短く押すと変わります。

コントローラーのディスプレイ情報

C	使用中の現在のチャンネルを表示し、OFF / ON ボタンを1回短く押すチャンネル番号が変更できます
電波状態	チャンネル表示の上部のアンテナアイコン表示で電波状態が確認できます
Bluetooth	iOS アプリとの通信が確立されているときはチャンネル表示上部にアイコンが表示されます
T	コントローラーのバッテリー充電残量のパーセンテージを表示します
R	レシーバーモーター側(モーターが接続されている電源電圧)電圧を表示します
FZI, XYZ	コントローラーの解像度が数値で表示されます

REMOTE AIR アプリケーション

App Store からアプリケーションをダウンロードします (REMOTE AIR を検索する)

お使いの端末に最新バージョンの iOS と Bluetooth が有効になっていることを確認してください。モーターとコントローラーの電源が入っていることを確認してください。アプリを実行すると、アプリのメインメニュー画面が出てきます。端末が Remote Air 3 と通信が確立されていれば、コントローラーのコントロールインジケータランプが赤から緑に変わります

アプリケーション制御

アプリのメインコントロール画面には、3 つの列 (ZOOM, IRIS, FOCUS) が含まれています。これらのチャンネルをコントロールするには、画面をタップし ZOOM, IRIS、または FOCUS のタイトル行をグレーに反転させます (チャンネルをアクティブにします)。

チャンネルがアクティブなときは、それぞれの列を指でスライドさせるだけです。黒く反転(非アクティブ)させると、チャンネルはオフで、アプリ経由で制御することはできません。コントローラーでモーターを制御します。

制御方法の種類

- ①コントローラー:コントローラーを使用するには、アプリケーションを使用しないでください
- ②アプリケーションコントロール:ZOOM、IRIS、FOCUS チャンネルがアプリでグレー表示されているときはタッチスクリーンを使用し、モーターを制御することができます

キャリブレーション（レンズストローク検出）

モーターがカメラリグとしっかりと取り付けられていることを確認してください

コントローラーの「FOCUS(ZOOM,IRIS)」ボタンを長押し(3 秒位)しモーターが動き出したらボタンから離します

リモートエアアプリのメインメニューにある”AUTO”ボタンを押すこともできます。 PD2-H2 または PD2-H3 を使用する場合、複数モーターが同時にキャリブレーションを行います。しっかりと噛み合わせず動作させた場合はモーターの ON/OFF ボタンを 1 回押すことでモーターを停止することができます

レンズストロークを手動で検出する

ギアの開始終了が自動で検出できないレンズではレンズストロークを手動で設定します。

①ギアとレンズがしっかりと固定されていることを確認してください

②モーターの電源を入れます。レンズギアを回し開始位置まで移動し、ギアの動きを止めます

③再度レンズギアを手動回し、終了位置に移動し、ギアの動きを止めます

④③で回した方向とは逆方向に少しギアを動かします(その時ギアがしっかりと噛むような動きをします)

モーターのボタン機能

ボタン	機能
ON/OFF	スタートアップ： インジケータースランプが点灯するまでボタンを2秒間押し続けます。
チャンネル	シャットダウン： インジケータースランプが消灯するまで、ボタンを4～5秒間押し続けます。
スピード	モーターの回転速度の切り替えと制御チャンネルの切り替え

モーターチャンネル切換テーブル

ボタン操作	コントローラー	インジケータースランプの色	操作推奨チャンネル設定
2 回押す ●●	R1	赤	フォーカス(ホイール操作)
	G2	緑	ズーム(プッシュプルレバー操作)
	B3	青	アイリス(プッシュプルレバー操作)
3 回押す ●●●	Y4	黄色	予備
	C5	シアン	予備
	P6	紫	予備

※黄色、シアン、紫チャンネルは将来的な追加機能用に設けられています

インジケータースランプは赤→緑→青（黄色→シアン→紫）の順に切り替わります

モーター回転速度切り替え操作

ボタン操作	モータースピード	LED 点滅
5回押す ●●●●●	高速(高トルク)	速い点滅
	中程度 (FOCUS には中程度のトルクが推奨されます)	遅い点滅
	遅い(トルクが小さい、ズームにはお勧めです)	点灯

コントローラーのボタン説明

ボタン	機能	動作
ON/OFF チャンネル	ON/OFF	3-4 秒間ボタンを押し続けると電源が ON/OFF になります
	チャンネル変更	短く 1 回押し、チャンネル表示が点滅状態で変更します
FOCUS ZOOM IRIS	キャリブレーション	3 秒間押し続けてレンズが回転を始まりましたらボタンから離してください
	コントロールチャンネルの変更	連続 2 回押します。コントロールするモーターチャンネルを変更します
	モーター回転方向の切り替え	連続 7 回押します *アプリが OFF の場合に設定可能です
	ストローク幅を手動で設定する (AB ポイント)	ボタンを 1 回押して A 点を設定します (一度白点灯します。)。ホイールもしくはプルプッシュレバーを動かして、改めてボタンを押して B 点を設定します (設定後、インジケータランプが白点滅表示します)。その状態でボタンを 1 回押すと AB 点を無効にします。 *アプリが OFF の場合に設定可能です
ZOOM	スピードの切り替え	連続 5 回押します。3 段階でモーターの操作スピードが変更できます
IRIS	操作位置の入れ替え	連続 3 回押します。ZOOM と IRIS の操作位置を好みで変更できます

コントローラーインジケータランプの色

表示色	赤	緑	青／紫
ステータス	ユニットの電源が入っている	ユニットの電源が入っている アプリ経由でデバイスと同期している	ユニットが充電中 (USB 充電ケーブルで接続している状況)

その他

①3 種類のサイズ (0.4mm、0.5mm、0.6mm) のギアキットがオプションアクセサリであります。モーターのギアを付け替えることでギアピッチを変更することが可能です

②非常停止機能: モーターがレンズギアとしっかり噛み合っていない場合に誤って動くことがあります。その時にモーターの底にある ON / OFF ボタンを短く 1 回押してください。直ちに停止します

③アプリを実行すれば自動でコントローラーを検索して同期します。コントローラーの電源を切って再起動した場合、アプリも再起動し同期しなおします。

④電源と充電

iOS が接続されていない場合、約 48 時間連続で使用可能です

コントローラーの表示パネルには残量がパーセントで表示されています

コントローラーが作動しない場合は 5V IN の電源を使って充電、使用できます

長時間使わない時は定期的にバッテリーを点検し容量を確認してください

長期間放置し、過放電の状態が長くなるとバッテリーの寿命が短くなりますので注意してください

⑤機器のメンテナンス

できるだけ、乾燥した環境に保管してください。湿度が多いと水分やかびが発生しやすく、機器が損傷することがあります。

REMOTE AIR スマートフォン用アプリ取扱説明書

Apple 対応機種 iPhone 7/7 Plus /6/6s /6 Plus/6s Plus/iPodtouch (iOSバージョン8.4以上)

IDの登録

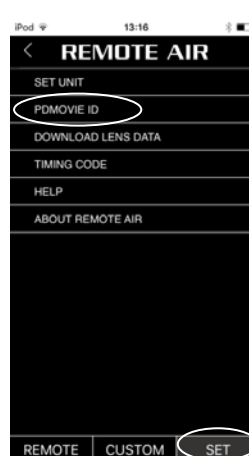
E-mail(PDMOVIE ID)を登録することでレンズのデータの登録、ダウンロードが可能となります



画面1



画面2



画面3

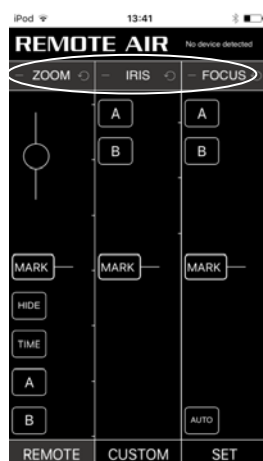


画面4

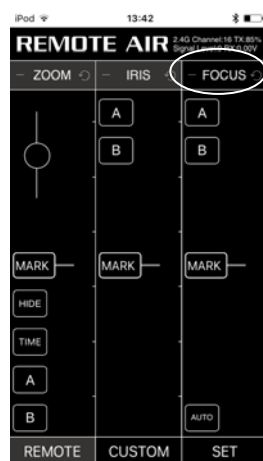
- (1) AppStoreでREMOTE AIR もしくはPDMOVIEを検索してダウンロードします(画面1)
- (2) REMOTE AIR アプリを起動します(画面2)
- (3) セットメニューの PDMOVIE IDを選択し、E-mailを登録します(画面3)
- (4) E-mailとパスワードを入力し、REGISTRATIONをクリックします(画面4)

操作画面(「REMOTE」メニュー画面)

アプリでのコントロール設定



画面5



画面6

[ZOOM], [IRIS], [FOCUS] チャンネルのネームタグをタッチすると画面のタッチ操作でレンズをコントロールすることができます

(画面5はZOOM, IRIS, FOCUSが操作可能な状態)

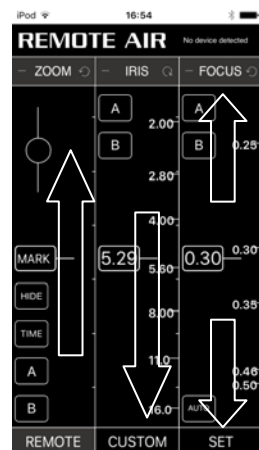
グレーはチャンネルを操作できることを示し、

黒はチャンネルを操作できない状態です

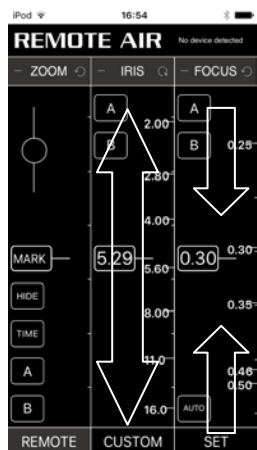
(画面6ではFOCUSは操作不可な状態)

画面6の状態ではフォーカスの操作はハンドルコントロールユニットを使用して操作します

画面上での操作



画面 7

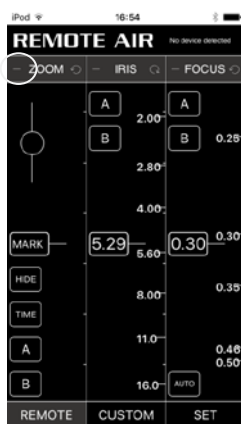


画面 8

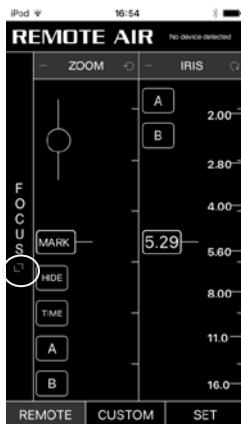
[ZOOM], [IRIS], [FOCUS] 各チャンネルの目盛部分をスワイプすると
レンズを動かすことが可能です(画面 7)

[ZOOM], [IRIS], [FOCUS] 各チャンネルの目盛部分を
ピンチイン／ピンチアウトすると目盛の間隔を調整できます(画面 8)

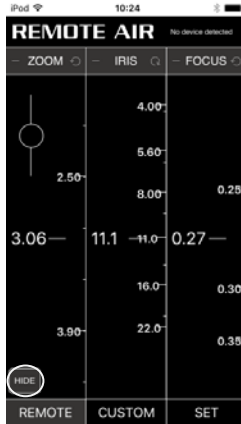
画面表示設定



画面 9



画面 10

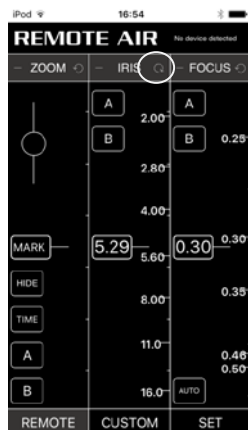


画面 11

[ZOOM], [IRIS], [FOCUS]各チャンネルタイトル前にあ
るマーク[-]をダブルタップするとチャネル表示を折
りたたむことができます。

画面 9 の FOCUS の前の[-]ダブルタップし、FOCUS チャ
ンネルを折りたたんだ状態が画面 10 です
折りたたんだチャンネルのタイトル部分の[「」]
マークをダブルタップすると再度表示されます
HIDE をタップするとレンズ数値のみに表示されます
(画面 11)

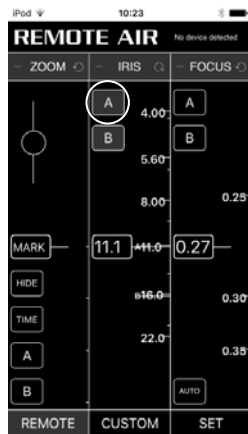
レンズギア回転方向設定



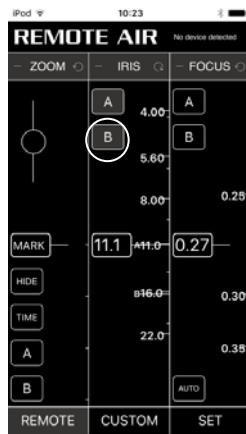
画面 12

[ZOOM], [IRIS], [FOCUS]各チャンネルタイトル後ろにある
矢印の○マークをダブルタップするとレンズギア
の回転方向を変更できます

任意ポイント(AB ポイント)設定



画面 13



画面 14

レンズを設定された区間 (AB) で操作可能にする任意ポイントが設定できます

[ZOOM], [IRIS], [FOCUS]それぞれで設定可能です

センターマークに希望のポイントに移動させ「A」を設定し、

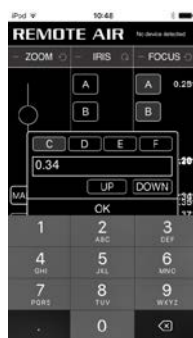
次に希望のポイントに移動し「B」ポイントを選択します

選択すると画面はグレーになりその数値の間でギアが移動します

解除するには[A][B]それぞれのマークをタップします

AB 設定後追加でレンズ区間を追加できる C-F 設定があります。

ただし、AB 区間内で設定のみです(画面 15)

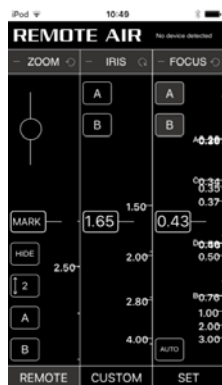


画面 15

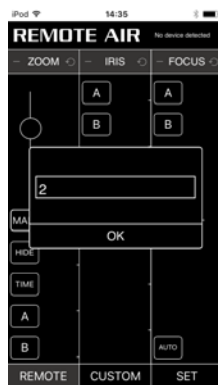


指定は A-B に設定された範囲内で指定可能です

ギア連続動作(繰り返し機能)設定



画面 16



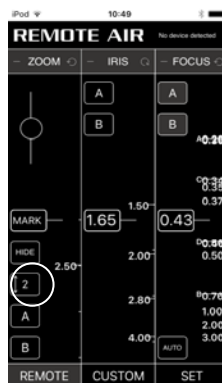
画面 17

ZOOM の AB 区間繰り返し機能は AB ポイントを決めたあとに

TIME マークをタッチすると数字を 2-60 秒まで入力できます

入力数値は繰り返しの間隔です

設定された数字マークを長押しすると AB ポイント間で繰り返しが始まります



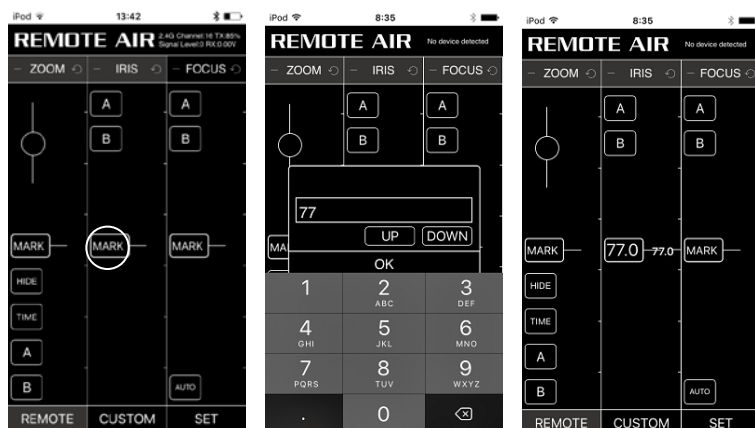
画面 18

数字マークをダブルタップすると矢印の向きが変わりギアの回転

方法が指定できます

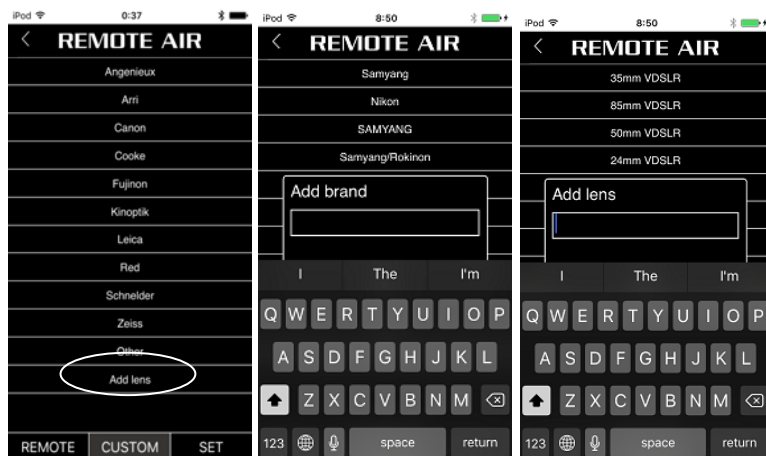
レンズデータ設定(「CUSTOM」メニュー画面)

REMOTE AIR のアプリではマークで任意に設定したレンズデータを登録することが可能です



画面 19

[ZOOM], [IRIS], [FOCUS]それぞれの[MARK]位置をタップすることで任意の目盛数値を入力することができます



画面 20

画面 21

画面 22

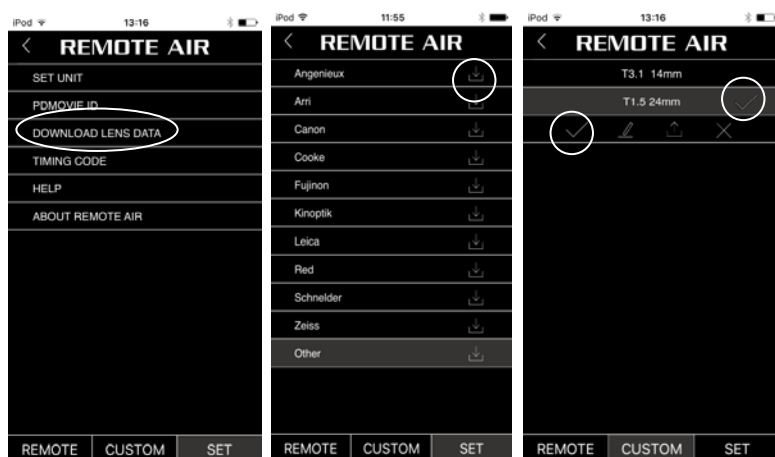
[Add lens]をタップしてブランドを選択します(画面 20)

ブランドがリストに存在しない場合は、ブランドを追加します(画面 21)

ブランドを選択後、レンズ名称を登録してレンズデータを登録します(画面 22)

レンズデータのダウンロード(「SET」メニュー画面)

予め登録されているレンズデータをダウンロードすることが可能です



画面 23

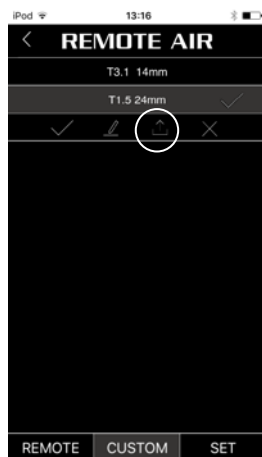
画面 24

画面 25

[DOWNLOAD LENS DATA]をタップした後ブランド名右側の[↓]をタップしてダウンロードを開始します
画面 25 のようにチェックマークをつけて表示するデータを選択します
※登録されているレンズデータは限定されています

レンズデータの共有

PDMOVIE ID 間でレンズデータの共有が可能です



画面 26

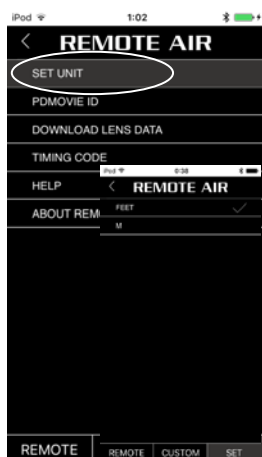
CUSTOM 画面でレンズデータを選択し、アップロード画面をタップします(画面 26)

レンズデータをサーバーにアップロードしますので PDMOVIE ID メニューで友人設定

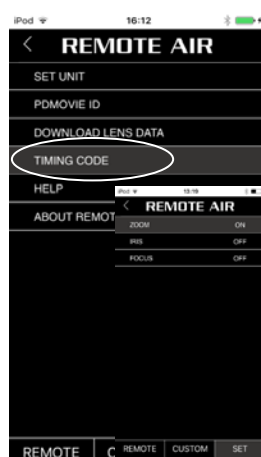
している ID とレンズデータの共有が可能になります

REMOTE AIR 設定(「SET」メニュー画面)

単位設定、タイミングコード設定



画面 27



画面 28

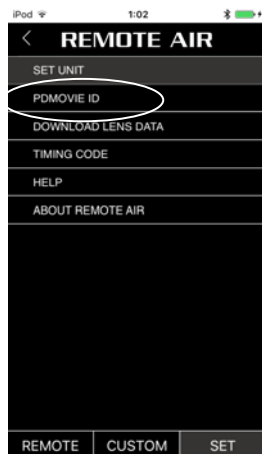
セットユニットはレンズのデータの表示単位の設定です(画面 27)

フィートかミリが選択できます

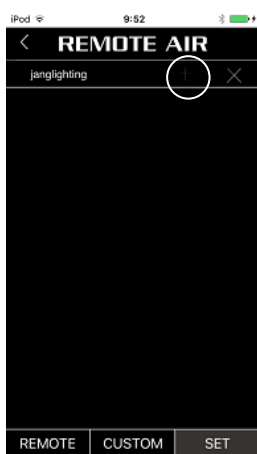
タイミングコードは前のページで説明してある ZOOM AB 区間

繰り返し機能のタイム設定表示をオン/オフ機能です(画面 28)

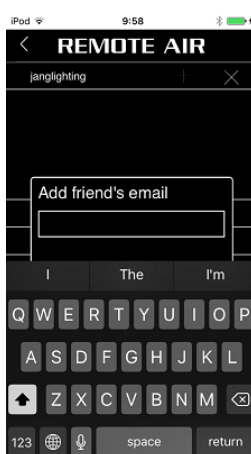
データ共有(友人)設定



画面 29



画面 30



画面 31

PDMOVIE ID 間でデータの共有を行うためには
共有先のメールアドレスの登録が必要です

PDMOVIE ID メニューを選択し(画面 29)、自身の ID
右側の「+」画面をタップします。

共有する相手方のメールアドレスを登録します

(画面 31)